

～江戸時代にタイムスリップ～

6月20日 文楽鑑賞教室
国立文楽劇場 10時集合

当日は文楽鑑賞教室と銘打っての公演でした。

高校生や小学生も参加していて満員の会場は、熱気があふれていました。

拍子木の音と共に幕が引かれ、二人三番叟の語りが始まると大拍手、そして語りに合わせて三味線の音が響き渡る。五穀豊穡を祈る能を義太夫節に移した二人三番叟。太夫、人形、三味線が一体となって作り上げた日本の舞台芸術（文楽）に引き込まれていった。外国の方も観劇に来ていたが、日本の文楽芸術に息を潜めて鑑賞していました。

文楽へようこそその解説には、吉田叢太郎さんから頭、左手、右手、足遣いなど詳しい説明をして頂き、文楽人形についての理解を深めることができました。写真撮影が禁止でしたので、残念ながら映像はありませんが、皆さんの記憶の中には鮮明に保存されていることでしょう。

日本の伝統文化に触れることができ感激の校外学習でした。

公演終了後ロビーで、大型文楽人形のカシラと記念撮影をして散会しました。

各班それぞれ親睦昼食会へと出掛けられた模様でした。



【担当：一班広報】